



拝啓 向寒の砌、皆様益々御清祥のこと慶  
賀申し上げます。

5 又、早速ながら、明年3月26日～30日の西安・草  
堂寺訪問については、すで色々とお書きし、御手紙での  
ことと存じますが、それまでの諸手紙を勘案いた  
しますと、ほぼ別紙のとおりに進めてまいらねば  
ならないかと覺えています。

10 別紙のように存じますと、あまり野村の余福が  
ないように思います。

ついでに、

15 ①旅行エージェンツ（代理店）を貴親土人の手で定  
めていただきたい。（ヤニと小生も連絡をとるつもりだが）もし  
とくに御指定がなければ、当方でよく使っている会社、  
あるいは、「日中文化交流協会」が奉仕的に世話をして  
おいて申ししておりますが、――。

20 ②メンバーとしては、小生と足茂（に妻も同行人数が  
ゆるせば――）、その他、本件（嶋摩羅什）に用ひの  
ある小生の友人が邪魔でなければメンバーにのぞいてほ  
しい」といふような者（また「話している本人がもし



No. \_\_\_\_\_

節言すれば、ですが)が 2~3人はいらそうです。  
なにも莫親様のおきて、何人位にするかを  
お話し頂きたいと存じます。  
全面的にあなたに副いたいと、存じますので、

5 について即検討したいと存じます。

大変さし出がまに午2時に、現物を提出し  
いたします。どうぞよろしくおわかれします。

10 2~3日以内の電話をさし上げ、必要であれば  
なんでもお話しします。 (もし、即上京の機会があ  
ればそれだけでも御話し相づかいします。) したいと存じます。

15 とりいそぎ 謹んで 敬白いたします

草

正田 莫親 様

机下

森 一 之

11月17日

乱筆 赤中 下 へ 申上。

(81級)



No.

- 12月初め 草堂寺側から「賓客様はじめ約10名の訪問団を受け入れる」という一般の招待状を入手。
- 12月中旬までに、仮日程(と費用見積り)をきめ、それにより、ホテル、飛行機を15名位で仮予約する。
- 上記の仮日程(と見積費用)にもとずき、参加者を部課に、人数等を確定する。(1月20日まで)
- 確定メンバーに対する草堂寺から(正式)招待状が来る。
- 上記招待状により 中国大使館にビザ申請。(2月中旬)

15

20